

1 研究主題

学ぶ喜び、分かる楽しさを実感する児童の育成

～ 考えを伝え合うことに重点を置いて ～

2 研究主題について

「学ぶ喜び、分かる楽しさを実感する児童の育成」をテーマにし、授業実践に取り組んできた。1年目は、問題意識を生み出す活動に重点を置き、児童に「知りたい」「考えたい」という思いをもたせるために、導入の工夫をした。それにより、児童が課題を自分事として捉え、活動に取り組む様子が見られた。2年目は、自分の考えをもつ活動に重点を置き、考えを整理させるために思考ツールを活用した。その結果、自分の考えを明確にすることができた。しかし、明確にした考えを友達と共有することを通して、児童が新しい考えに気付いたり、自分の考えを見直したりすることにつなげることができなかった。その一因として、自分たちの考えを伝え合う場や共有した考えを再構築する活動が不足していたのではないかと考える。

このような児童の実態を踏まえ、今年度は、「なかまなビジョン」の学習過程の中の「自分の考えを伝え合う活動」を意識した授業実践を考えていきたい。「自分の考えを伝え合う活動」において、考えを伝え合う場や方法を工夫することで、新たな考えを見出し、考えを深められるようにする。そして、児童が主体的に、学びたいという思いをもって学習に取り組み、学ぶ喜び、分かる楽しさを実感できるようにしていきたいと考える。

3 研究の内容

(1) 目指す児童の姿

考えを伝え合うことによって、新しい考えに気付いたり、考えが深まったりすることで、学ぶ喜びを味わい、分かる楽しさを実感できる児童。

(2) 手だて

○ 考えを伝え合うための工夫

- ・ 考えを伝え合う場の設定

例： ペアトーク（ピア・ラーニング等）、グループトーク（ワールドカフェ等）、意見カード、共有ボードの活用等

- ・ 考えを伝え合う方法の設定

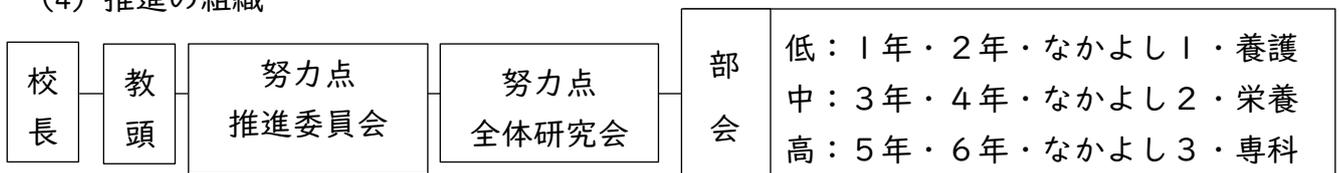
例： ICTを活用して、成果物を通して、話し合いを通して等

(3) 検証

- 年間通して実践を行い、児童の発言や様子、ノートの記述の変容をみる。

- 児童の実態調査やアンケートを通して、実践前と実践後の変容をみる。

(4) 推進の組織



- 推進委員会 … 基本的な計画を練り具体的な実践の進め方や方法の形式について話し合う。
 - 全体研究会 … 研究推進について共通理解を図り、研究協議や、報告会で他の部会の研究内容を共有する。
 - 各学年部会 … テーマを基に研究の進め方について話し合う。公開授業の事前検討を行い、互いにアドバイスをし合う。公開授業を互いに見合い、授業後には事後検討会を行い、次の実践に生かす。
- ※ 各部に部長を置き、部会への伝達、調整。話し合いでの司会進行を行う。また、部長と推進委員は兼ねないようにする。

(各部部长…低学年部会：水谷、中学年部会：川野、高学年部会：堂前)

(5) 実践の進め方

- テーマを基に、目指す児童達成に向けて、実践を行う。その際に、部会ごとに実践する教科を定め、それぞれの実践と反省を生かしながら、各学級での実践を深めていくようにする。
- 部会の部員においては、年に1回は、前期か後期で公開授業を行う。部会で相談し、前期と後期に公開授業が分かれるようにする。
- 日々の実践や公開授業において部会で互いに相談し、協力し合う。
- 公開授業後は、事後検討会を行い、成果と課題をまとめ、次の実践に生かす。
- 9月に保護者への公開授業として、授業参観で努力点に関わる授業を行う。

(6) 推進計画

月	日		主な内容
4	5	推進委員会	取り組みへの共通理解、推進計画の立案
4	12	全体会	全体での共通理解、全体授業者の決定、授業日の割振り
5	16	部会	児童の実態把握(アンケートの実施)、教科・単元の検討
前期実践(5月～9月)			
6	6	全体会	全体授業の事前検討会
6	13	全体会	全体授業実践・事後検討会
7	11	全体会・部会	前期実践「中間まとめ」の依頼、推進状況の報告・検討
9	15	公開授業	授業参観
後期実践(10月～12月)			
10	24	全体会	中間報告会
11	14	部会	推進状況の報告・検討
12	19	全体会・部会	「最終報告書まとめ」の依頼、推進状況の報告・検討
1	23	全体会	最終報告会
2	13	全体会	次年度の取り組みに向けての話し合い
3	13	推進委員会	次年度の取り組みに向けての話し合い